

小論文テーマ一覧

国公立大学／一般入試／教育系統

大学名・学部名 学科(専攻(コース))(日程/方式)	言語	出題形式	分野	出題内容
北海道大・教育 教育(後)	和	文	人, 科	人間の身体性の考察を述べた文を読み, 人間同士のコミュニケーションと身体とのかかわりの特徴などを書く。(1000字)
	和	文	社, 生	子ども食堂について述べた文より, 「公共の食堂は貧困問題の解決にならない」という批判への見解を書く。(1000字)
北海道教育大岩見沢校・教育 芸術・スポーツ文化(スポーツ文化(アウトドア・ライフ))(前)	和	文	社, 自然	ヒグマ対策の現状を知る必要があるという文を要約し, 野生動物との接触で気をつけるべきことを述べる。(1200字)
北海道教育大函館校・教育 国際地域(地域教育)(前)	和	文, 統	人	人それぞれの社会・友達とのかかわり方を述べた2つの文と図より, 個の尊重が個人化となる理由などを書く。(1150字)
岩手大・教育 学校教育教員養成(小学校教育)(後) 学校教育教員養成(特別支援教育)(後)	和	文	教育	日本の教育と公正さを論じた文を読み, みんなに質の高い教育を実現するための教師の役割などを述べる。(1200字)
宮城教育大・教育 学校教育教員養成(初等教育)(前/文系型) 学校教育教員養成(初等教育)(前/理系型) 学校教育教員養成(中等教育(国語))(前) 学校教育教員養成(中等教育(社会))(前) 学校教育教員養成(中等教育(英語))(前) 学校教育教員養成(中等教育(数学))(前) 学校教育教員養成(中等教育(理科))(前) 学校教育教員養成(特別支援教育)(前/文系型) 学校教育教員養成(特別支援教育)(前/理系型)	和	文, 統	教育, 芸	習字指導に関する文・世界企業の時価総額ランキングの表より, 教員として生徒に大切な力や指導などを書く。(1000字)
秋田大・教育文化 学校教育(教育実践)(後/小論文)	和	文	教育	ブラック校則を見直す動きを述べた記事より, 教員の立場で児童生徒とどのような対話をすべきかを論じる。(800字)
学校教育(こども発達)(後)	和	統	教育	不登校児童生徒の割合の推移を示す図より, 読みとれることを述べて複数の視点から考察をする。(800字)
福島大・人文社会学群 人間発達文化学類(教育実践)(前)	和	文	社, 教育	学校外教育活動など日本の教育の現状を論じた文より, これからの日本の教育に求められることなどを述べる。(1200字)
人間発達文化学類(特別支援・生活科学)(前)	和	文	社, 教育	学校と地域の協働への変遷を述べた文より, これからの学校と地域の協働に対する考えなどを論じる。(1200字)
人間発達文化学類(後/A系)	和	文, 統	人, 教育	言語習得を説明する文と図より, 「ブートストラッピング・サイクルによる学習」がもたらす効果などを書く。(1200字)
茨城大・教育 養護教諭養成(前) 学校教育教員養成(教科教育(国語))(前) 学校教育教員養成(教科教育(家庭))(前) 学校教育教員養成(教育実践科学)(前)	和	文	人, 教育	読み書き能力の判断は様々な条件が影響するという文より, 書くことへの教師としての働きかけ方などを書く。(800字)
学校教育教員養成(教科教育(社会))(前)	和	文	文, 人	日本人のマジョリティ性を説明する文より, 自身が教員になったときに授業で実践したい内容などを述べる。(750字)
筑波大・人間学群 教育学類(後)	和	文	科	人間を支配し得る情報テクノロジーの高度な発展を危惧する文より, 今後子どもたちに必要な教育などを書く。(1000字)
障害科学類(後)	和	文	社	ヘルプマークへの社会の理解が必要だという文より, 障がい者の援助で自分が貢献できることなどを述べる。
宇都宮大・共同教育 学校教育教員養成(教育人間科学系)(前)	和	文	教育	日本とイギリスの大学入試や学習モデルの違いを説明する文より, 日本とイギリスの教育への考えを述べる。(800字)
学校教育教員養成(人文社会系)(前)	和	文	文, 人	14世紀の随筆に書かれている当時の日本人と現代の日本人を比較する文より, その比較への考えなどを書く。(900字)
学校教育教員養成(自然科学系)(前)	和	文	科	現代のAIは論理的な機能はないという文より, AIの使用により起こりうることと留意点などを論じる。(400字)
	和	文, 統	自然, 教科	ふりがなが往復する時間の考察を示す文と図表より, ふりはば検証が1回の測定では不十分な理由などを書く。
学校教育教員養成(芸術・生活・健康系)(前)	和	文, 統	経, 生	コロナ禍での衣類供給量推移を示す文や図より, 環境や人権に優しい衣生活実現にできることなどを述べる。(800字)
群馬大・共同教育 学校教育教員養成(人文社会系(国語))(前)	和	文	人	人類は所有を減らして共助の社会をめざすことが肝要だと述べた文より, 筆者の主張に対する意見などを書く。(600字)
学校教育教員養成(人文社会系(社会))(前)	和	文, 統	教育	高校生の学校適応の変化を示す図と文より, 生徒の学校へのかかわり方の変容について考えられることを書く。(400字)
学校教育教員養成(人文社会系(英語))(前)				
学校教育教員養成(自然科学系(数学))(前)				
学校教育教員養成(自然科学系(理科))(前)				
学校教育教員養成(自然科学系(技術))(前)				
学校教育教員養成(芸術・生活・健康系(家政))(前)				
学校教育教員養成(教育人間科学系(教育))(前)				
学校教育教員養成(教育人間科学系(教育心理))(前)				
学校教育教員養成(教育人間科学系(特別支援教育))(前)				
学校教育教員養成(芸術・生活・健康系(音楽))(前)	和	文	人	人類は所有を減らして共助の社会をめざすことが肝要だと述べた文より, 筆者の主張に対する意見などを書く。(600字)
学校教育教員養成(芸術・生活・健康系(美術))(前)				
学校教育教員養成(芸術・生活・健康系(保健体育))(前)				
埼玉大・教育 学校教育教員養成(小学校・社会)(前)	和	課	社	ある社会におけるジェンダーの特質を反映した具体例とその課題について, 自身の考えを論じる。(1000字)
学校教育教員養成(中学校・社会)(前)				
お茶の水女子大・文教育 人間社会科(教育学・子ども学)(後)	和	文	人	人間の共感に基づく援助行動や心理を説明する文より, 援助行動に限界が生じる理由や克服方法を論じる。(1000字)
東京学芸大・教育 学校教育教員養成(中等教育・家庭)(前)	和	文	教育, 生	家庭料理は手をかけず安心するものでいいという文より, 食生活に関する事柄を家庭科で学ぶ意義などを書く。
学校教育教員養成(初等教育・家庭)(前)	和	統	社	自然災害時に重点を置くべきことに関する世論調査結果を示す図より, 家庭科教育に必要な学習などを述べる。
学校教育教員養成(特別支援教育)(前)	和	文	教育	頭と心と体が三位一体で展開する学力が望ましいという文より, 今後の公教育に必要な取り組みなどを述べる。(1200字)
学校教育教員養成(養護教育)(前)	和	統	医他, 生	BMIにより判定したやせと肥満の割合を示す図より, 現在や将来における健康問題の可能性などを述べる。(700字)
	和	統	生	食習慣改善の意思調査結果を示す図より, 改善の意思のない人に意識改革させる働きかけ方などを述べる。(800字)

大学名・学部名 学科(専攻(コース))(日程/方式)	言語	出題形式	分野	出題内容
東京学芸大・教育 教育支援(教育支援(生涯学習・文化遺産教育))(前)	和	文	文, 社	ある地方歌舞伎の継承の取り組みを述べた文より、文化遺産や生涯学習・地域づくりの視点で意義などを書く。(1400字)
教育支援(教育支援(ソーシャルワーク))(前)	和	文	人	利他は「与える」よりも「漏れる」という動詞がふさわしいという記事より、筆者の考えに対して意見を書く。(1000字)
教育支援(教育支援(多文化共生教育))(前)	和	文	人, 政, 法	単一文化主義や宗教における個人の権利を主張する文より、今の子どもたちに授けるべきものを論じる。(600字)
	和	文	法, 社	社会において労働の観念を変える必要があるという文より、アフターマティブ・アクションへの考えを述べる。(600字)
教育支援(教育支援(表現教育))(前)	和	文	社	苦情などにより撤去されたストリートピアノを紹介する記事より、ストリートピアノについて考えなどを書く。(800字)
学校教育教員養成(初等教育・国語)(前)	和	課	科	文章を書くときの生成系AⅠの活用について議論されるなか、国語科教育の観点から考えられることを述べる。(800字)
学校教育教員養成(中等教育・国語)(前)	和	課	教育	学校教育の社会科において、学力像の転換を行うことによる利点や問題点について考えを述べる。(400字)
学校教育教員養成(初等教育・社会)(前)	和	課	教育	学校教育の社会科において、学力像の転換を行うことによる利点や問題点について考えを述べる。(400字)
学校教育教員養成(中等教育・社会)(前)	和	課	教育	学校教育の社会科において、学力像の転換を行うことによる利点や問題点について考えを述べる。(400字)
学校教育教員養成(初等教育・数学)(前)	和	文	自然, 教科	連続する3つの整数の和や倍数に関する会話文より、命題が真のときその逆の真偽を調べる重要性などを書く。
学校教育教員養成(中等教育・数学)(前)	和	文	自然, 教科	連続する3つの整数の和や倍数に関する会話文より、命題が真のときその逆の真偽を調べる重要性などを書く。
学校教育教員養成(初等教育・理科)(前)	和	課	教育	授業形態が多様化するなか、遠隔授業の特徴と理科の授業を対面で行う意義を教師の立場から述べる。(300字)
学校教育教員養成(中等教育・理科)(前)	和	課	教育	小学校での思考力の育成について、どうとらえているかどのような指導や学習が行われるべきか考えを論じる。(1200字)
学校教育教員養成(初等教育・現代教育実践(学校教育プログラム))(前)	和	課	教育	小学校での思考力の育成について、どうとらえているかどのような指導や学習が行われるべきか考えを論じる。(1200字)
学校教育教員養成(初等教育・現代教育実践(環境教育プログラム))(前)	和	課	社, 教育	小学校における環境教育を行ううえで、望ましいと考えるインターネットの活用方法を論じる。(300字)
学校教育教員養成(特別支援教育)(後)	和	課	教育	他者への共感性を育むために、学校教員が子どもにできることは何かについて考えを述べる。(1000字)
横浜国立大・教育 学校教員養成(言語・文化・社会系教育)(前)	和	文	社, 教育	学校と地域の協働活動を推進する文より、活動事例を挙げ教師としてどのように関与するか見解などを述べる。(800字)
学校教員養成(自然・生活系教育)(前)	和	文	教育	討論ではメタ認知的な目的を意識することが大切だという文より、教師としての対応や指導方法などを述べる。(800字)
学校教員養成(芸術・身体・発達支援系教育(特別支援教育))(前)	和	文	教育	討論ではメタ認知的な目的を意識することが大切だという文より、教師としての対応や指導方法などを述べる。(800字)
信州大・教育 学校教育教員養成(図画工作・美術教育)(前)	和	課	芸, 教科	20世紀に発表された美術作品のうち自身が最も重要だと考えるものを1点挙げ、理由とともに説明をする。(600字)
	和	統	芸, 教科	室内から見た窓越しの風景を描いた絵画の図より、構図や表現上の工夫に着目したうえで作品の説明をする。(400字)
	和	写	芸, 教科	鳥と花の織物・彫像・日本画・陶芸作品という美術作品を示す4つの図より、自分が知っていることを書く。(800字)
上越教育大・学校教育 初等教育教員養成(前)	和	文	人, 自己	個性はある世代に共有されている縛りにすぎないという文を要約し、自分の個性との向き合い方などを書く。(800字)
静岡大・教育 学校教育教員養成(発達教育学(教育実践学))(前)	和	文	教育	教育現場における生成系AⅠの活用を説明する記事より、ある生成系AⅠの年齢制限について考えなどを書く。
学校教育教員養成(発達教育学(幼児教育))(前)	和	文	教育	教育現場における生成系AⅠの活用を説明する記事より、ある生成系AⅠの年齢制限について考えなどを書く。
学校教育教員養成(特別支援教育)(前)	和	文	教育	教育現場における生成系AⅠの活用を説明する記事より、ある生成系AⅠの年齢制限について考えなどを書く。
学校教育教員養成(教科教育学(国語教育))(前)	和	文	教育	教育現場における生成系AⅠの活用を説明する記事より、ある生成系AⅠの年齢制限について考えなどを書く。
学校教育教員養成(教科教育学(社会科教育))(前)	和	文	教育	教育現場における生成系AⅠの活用を説明する記事より、ある生成系AⅠの年齢制限について考えなどを書く。
学校教育教員養成(教科教育学(数学教育))(前)	和	文	教育	教育現場における生成系AⅠの活用を説明する記事より、ある生成系AⅠの年齢制限について考えなどを書く。
学校教育教員養成(教科教育学(理科教育))(前)	和	文	教育	教育現場における生成系AⅠの活用を説明する記事より、ある生成系AⅠの年齢制限について考えなどを書く。
学校教育教員養成(教科教育学(音楽教育))(前)	和	文	教育	教育現場における生成系AⅠの活用を説明する記事より、ある生成系AⅠの年齢制限について考えなどを書く。
学校教育教員養成(教科教育学(美術教育))(前)	和	文	教育	教育現場における生成系AⅠの活用を説明する記事より、ある生成系AⅠの年齢制限について考えなどを書く。
学校教育教員養成(教科教育学(保健体育教育))(前)	和	文	教育	教育現場における生成系AⅠの活用を説明する記事より、ある生成系AⅠの年齢制限について考えなどを書く。
学校教育教員養成(教科教育学(技術教育))(前)	和	文	教育	教育現場における生成系AⅠの活用を説明する記事より、ある生成系AⅠの年齢制限について考えなどを書く。
学校教育教員養成(教科教育学(家庭科教育))(前)	和	文	教育	教育現場における生成系AⅠの活用を説明する記事より、ある生成系AⅠの年齢制限について考えなどを書く。
学校教育教員養成(教科教育学(英語教育))(前)	和	文	教育	教育現場における生成系AⅠの活用を説明する記事より、ある生成系AⅠの年齢制限について考えなどを書く。
学校教育教員養成(初等学習開発学)(前)	和	文	教育	教育現場における生成系AⅠの活用を説明する記事より、ある生成系AⅠの年齢制限について考えなどを書く。
学校教育教員養成(養護教育)(前)	和	文	教育	教育現場における生成系AⅠの活用を説明する記事より、ある生成系AⅠの年齢制限について考えなどを書く。
愛知教育大・教育 学校教員養成(義務教育・音楽)(前)	和	課	自己	教師にとって最も大切だと思うことを4つの選択肢から1つ選び、選んだ理由について体験を含めて述べる。(600字)
学校教員養成(義務教育・図画工作・美術)(前)	和	課	自己	教師にとって最も大切だと思うことを4つの選択肢から1つ選び、選んだ理由について体験を含めて述べる。(600字)
学校教員養成(義務教育・保健体育)(前)	和	課	自己	教師にとって最も大切だと思うことを4つの選択肢から1つ選び、選んだ理由について体験を含めて述べる。(600字)
学校教員養成(義務教育・ものづくり・技術)(前)	和	課	自己	教師にとって最も大切だと思うことを4つの選択肢から1つ選び、選んだ理由について体験を含めて述べる。(600字)
学校教員養成(義務教育・家庭)(前)	和	課	自己	教師にとって最も大切だと思うことを4つの選択肢から1つ選び、選んだ理由について体験を含めて述べる。(600字)
学校教員養成(義務教育・英語)(前)	和	課	自己	教師にとって最も大切だと思うことを4つの選択肢から1つ選び、選んだ理由について体験を含めて述べる。(600字)
学校教員養成(高等学校教育・国語・書道)(前)	和	課	自己	教師にとって最も大切だと思うことを4つの選択肢から1つ選び、選んだ理由について体験を含めて述べる。(600字)
学校教員養成(高等学校教育・地歴・公民)(前)	和	課	自己	教師にとって最も大切だと思うことを4つの選択肢から1つ選び、選んだ理由について体験を含めて述べる。(600字)
学校教員養成(高等学校教育・数学)(前)	和	課	自己	教師にとって最も大切だと思うことを4つの選択肢から1つ選び、選んだ理由について体験を含めて述べる。(600字)
学校教員養成(高等学校教育・理科)(前)	和	課	自己	教師にとって最も大切だと思うことを4つの選択肢から1つ選び、選んだ理由について体験を含めて述べる。(600字)
学校教員養成(高等学校教育・英語)(前)	和	課	自己	教師にとって最も大切だと思うことを4つの選択肢から1つ選び、選んだ理由について体験を含めて述べる。(600字)
学校教員養成(幼児教育)(前)	和	課	自己	教師にとって最も大切だと思うことを4つの選択肢から1つ選び、選んだ理由について体験を含めて述べる。(600字)
学校教員養成(特別支援教育)(前)	和	課	自己	教師にとって最も大切だと思うことを4つの選択肢から1つ選び、選んだ理由について体験を含めて述べる。(600字)
学校教員養成(養護教育)(前)	和	課	自己	教師にとって最も大切だと思うことを4つの選択肢から1つ選び、選んだ理由について体験を含めて述べる。(600字)
学校教員養成(義務教育・学校教育科学)(前)	和	課	自己	教師にとって最も大切だと思うことを4つの選択肢から1つ選び、選んだ理由について体験を含めて述べる。(600字)
学校教員養成(義務教育・生活・総合)(前)	和	課	自己	教師にとって最も大切だと思うことを4つの選択肢から1つ選び、選んだ理由について体験を含めて述べる。(600字)
学校教員養成(義務教育・ICT活用支援)(前)	和	課	自己	教師にとって最も大切だと思うことを4つの選択肢から1つ選び、選んだ理由について体験を含めて述べる。(600字)
学校教員養成(義務教育・日本語支援)(前)	和	課	自己	教師にとって最も大切だと思うことを4つの選択肢から1つ選び、選んだ理由について体験を含めて述べる。(600字)
学校教員養成(義務教育・国語)(前)	和	課	自己	教師にとって最も大切だと思うことを4つの選択肢から1つ選び、選んだ理由について体験を含めて述べる。(600字)
学校教員養成(義務教育・社会)(前)	和	課	自己	教師にとって最も大切だと思うことを4つの選択肢から1つ選び、選んだ理由について体験を含めて述べる。(600字)
学校教員養成(義務教育・算数・数学)(前)	和	課	自己	教師にとって最も大切だと思うことを4つの選択肢から1つ選び、選んだ理由について体験を含めて述べる。(600字)
学校教員養成(義務教育・理科)(前)	和	課	自己	教師にとって最も大切だと思うことを4つの選択肢から1つ選び、選んだ理由について体験を含めて述べる。(600字)
三重大・教育 学校教育教員養成(特別支援教育)(後)	和	文	社	喫煙者への見方が時代とともに激変したという文より、障がいのある方へのイメージ変化について考えを書く。(800字)
	和	文	教育	病児療養施設の特別支援学校への転学の現状と教員による支援の重要性を論じた文より、教員として考えを書く。(800字)
学校教育教員養成(国語教育・初等教育)(後)	和	文	自己, 教育	PISA調査の結果と学力向上のあり方への生成系AⅠによる回答を示す文より、読解力向上への意見を書く。(1200字)
学校教育教員養成(国語教育・中等教育)(後)	和	文	自己, 教育	PISA調査の結果と学力向上のあり方への生成系AⅠによる回答を示す文より、読解力向上への意見を書く。(1200字)
学校教育教員養成(音楽教育・初等教育)(後)	和	課	教育, 芸	読譜指導は子どもへの定着が難しいと言われるが、その基本的なとらえ方と指導方法について考えを述べる。(1200字)
滋賀大・教育 学校教育教員養成(後)	和	文	人	インプットされた情報は活用されてはじめて価値を持つという文より、教師として行いたい教育などを述べる。(450字)
	和	文	教育	子どもはもっと能動的で有能な学び手だという文より、子どもに対する見方を変えた教育の実現などを述べる。(600字)

大学名・学部名 学科(専攻(コース))(日程/方式)	言語	出題形式	分野	出題内容
大阪教育大・教育 学校教育教員養成(特別支援教育)(前)	和	文	医他, 教育	教員の仕事量の増加・発達障害の診断を説明する文より, 教員の多忙化問題とその解決策などを述べる。(1600字)
教育協働(グローバル教育(多文化リテラシー))(前)	和	文	人, 社	コスモロジ的な「家」・老いについて考察する文より, 人と「家」との築くべき関係について考えなどを書く。(1500字)
教育協働(教育心理学)(前)	和	文	人	他人任せの生き方を問題視する文を読んで要約し, 筆者の考えに対してできることの例を挙げて考えを述べる。(1200字)
学校教育教員養成(幼小教育(小学校教育))(前)	和	文	医他, 教育	健康教育の手法を紹介する文を要約し, これからの健康教育がめざす子どもたちの姿について考えを述べる。(800字)
学校教育教員養成(次世代教育(教育探究))(前)	和	文, 統	人	多様性の尊重を疑問視する文と同性愛の認識に関する調査結果の表より, 要約したうえで自身の考えを述べる。(1200字)
教育協働(健康安全科学)(前)	和	文, 統	犯, 生	公衆衛生の社会モデル・非行少年率を紹介する文より, 減塩を通して健康になる試みについて考えなどを書く。(1600字)
学校教育教員養成(次世代教育(ICT教育))(前/情報小 学校教育教員養成(次世代教育(ICT教育))(前/情報教 養護教諭養成(前))	和	課	社, 教育	学校現場のICT環境が整備されることによる学習の変容や, 児童生徒への教育効果や考えられる影響を書く。(800字)
学校教育教員養成(教科教育(社会科教育))(前)	和	文, 統	文, 社, 教育, 生	産業革命以降の家族や教育のあり方を述べた文と韓国・メキシコの食文化の解説文より, 自身の考えを述べる。(1600字)
学校教育教員養成(教科教育(技術教育))(前)	和	課	自然, 教科	床の上の直方体が回転する条件・回路図の説明・ブラッグの条件による式の説明など, 理科の問題に答える。
学校教育教員養成(教科教育(家政教育))(前)	和	文, 統	社, 生	児童のいる世帯数を示す図より児童の育ちへの影響を述べ, 羊毛の特徴を説明する文より快適な理由を書く。(1200字)
学校教育教員養成(特別支援教育)(後)	和	文	教育	障がいのある児童の学びの場の変更例を紹介する文より, 最適な学びの場を選択することの意義を述べる。(800字)
教育協働(教育心理学)(後)	和	文	社	安心できる「居場所」を持つことの重要性を述べた文より, 誰もが安心できる「居場所」をつくる方法を書く。(800字)
学校教育教員養成(教科教育(国語教育))(後)	和	文	自然	自然への指向とは大自然におもむくことではないという文より, 議論の展開での木の描写の効果などを書く。(1200字)
神戸大・国際人間科 子ども教育(後)	和	文	人	競争の性質と工夫を論じた文より, 競争が争いに向かわない社会実現のために学びたいことなどを述べる。(1700字)
奈良教育大・教育 学校教育教員養成(教育発達(教育学))(前)	和	課	教育	学校行事として行う児童・生徒の集団宿泊活動を見直すべきであるという意見について, 考えを論じる。(600字)
学校教育教員養成(教育発達(幼児教育))(前)	和	文	教育	学校で教えられる知識で進路の可能性は広がるがなじみにくいという文を要約し, 筆者の主張への考えを書く。(800字)
学校教育教員養成(教育発達(特別支援教育))(前)	和	課	社, 教育	家庭で保護者が子どもにかかわる場合と保育施設で保育者が子どもにかかわる場合の違いとその理由を述べる。(800字)
学校教育教員養成(教育発達(特別支援教育))(前)	和	文	教育	学校で教えられる知識で進路の可能性は広がるがなじみにくいという文を要約し, 筆者の主張への考えを書く。(800字)
学校教育教員養成(教科教育(社会科教育・初等教育))(前)	和	文	文	コミュニケーションという言葉について説明し, どんなときにコミュニケーションがうまくいくかなどを書く。(600字)
学校教育教員養成(教科教育(社会科教育・中等教育))(前)	和	文	文	朝鮮学校への差別や攻撃の例を述べた文より, 多文化共生社会を築くために社会科に何が必要かなどを論じる。(1200字)
学校教育教員養成(教科教育(家庭科教育・初等教育))(前)	和	課, 文	科・社, 教育, 生	フードテックの例を示す文より家庭科での知識などが食生活に役立つことを述べ, 家庭科を学ぶ意義を論じる。(1200字)
学校教育教員養成(教科教育(家庭科教育・中等教育))(前)	和	文	社, 教育	小中学校での生成A1利用時のチェックリストを示す文より, そのなかで自分が追加する1項目と理由を書く。(800字)
学校教育教員養成(教科教育(技術教育・中等教育))(前)	和	文	社, 教育	小中学校での生成A1利用時のチェックリストを示す文より, そのなかで自分が追加する1項目と理由を書く。(800字)
学校教育教員養成(教育発達(特別支援教育))(後)	和	課	教育	人間にとって手はどのような器官かを考え, 子どもの教育において「手を使う」ことの意義を論じる。(600字)
学校教育教員養成(教科教育(社会科教育・初等教育))(後)	和	文	自然	自然界で弱い雑草がはびこるのは変化を乗り越える力があるからだという文を読み, 問題文への意見を述べる。(800字)
学校教育教員養成(教科教育(社会科教育・中等教育))(後)	和	文	社, 教育	人間とA1が共生する社会の学校教育を述べた文より, 教育が抱える難題を明らかにして克服方法などを書く。(1200字)
島根大・教育 学校教育I類(前)	和	文, 統	人, 社	現代の動画視聴方法や映像視聴史を説明する2つの文と図より, オリジナル改変が起こる理由などを述べる。(750字)
学校教育I類(前)	和	文, 統	社, 教育	イギリスの教育改革における3つの段階を説明する文と3つの図より, 日本の教育の状況などを論じる。(850字)
岡山大・教育 養護教諭養成(前)	和	文, 統	環, 自然	気候変動と降水量変化・世界各地の様々な記数法を説明した文と図より, 算用数字の利便性などを述べる。(570字)
岡山大・教育 養護教諭養成(前)	和	文	人, 社, 教育	空気を読んだ発言・SNSでの共感を述べた2つの文より, 養護教諭として取り組みたいことなどを述べる。(550字)
高知大・教育 学校教育教員養成(幼児教育)(前)	和	文	教育	学校教育の影響力は限られた社会化エージェントの1つにすぎないという文と図より, 今後の関係性などを書く。(1100字)
福岡教育大・教育 初等教育教員養成(芸術・実技教育プログラム)(前/家庭系)	和	課	社	住まいの周囲の環境や地域社会との関係を説明し, 自身が特に重要だと考える内容を選びその理由を述べる。(1000字)
中等教育教員養成(中等教育プログラム(国語))(前)	和	文	人, 生	知覚資源は社会の複雑な組織化に役立てられたという文より, 教育の場での知覚に関する取り組みなどを書く。(500字)
中等教育教員養成(中等教育プログラム(数学))(前)	和	文	人, 生	知覚資源は社会の複雑な組織化に役立てられたという文より, 教育の場での知覚に関する取り組みなどを書く。(500字)
中等教育教員養成(中等教育プログラム(理科))(前)	和	文	人, 生	知覚資源は社会の複雑な組織化に役立てられたという文より, 教育の場での知覚に関する取り組みなどを書く。(500字)
中等教育教員養成(中等教育プログラム(英語))(前)	和	文	人, 生	知覚資源は社会の複雑な組織化に役立てられたという文より, 教育の場での知覚に関する取り組みなどを書く。(500字)
中等教育教員養成(中等教育プログラム(音楽))(前)	和	文	人, 生	知覚資源は社会の複雑な組織化に役立てられたという文より, 教育の場での知覚に関する取り組みなどを書く。(500字)
中等教育教員養成(中等教育プログラム(美術))(前)	和	文	人, 生	知覚資源は社会の複雑な組織化に役立てられたという文より, 教育の場での知覚に関する取り組みなどを書く。(500字)
中等教育教員養成(中等教育プログラム(保健体育))(前)	和	文	人, 生	知覚資源は社会の複雑な組織化に役立てられたという文より, 教育の場での知覚に関する取り組みなどを書く。(500字)
中等教育教員養成(中等教育プログラム(技術))(前)	和	文	人, 生	知覚資源は社会の複雑な組織化に役立てられたという文より, 教育の場での知覚に関する取り組みなどを書く。(500字)
中等教育教員養成(中等教育プログラム(書道))(前)	和	文	人, 生	知覚資源は社会の複雑な組織化に役立てられたという文より, 教育の場での知覚に関する取り組みなどを書く。(500字)
中等教育教員養成(中等教育プログラム(社会科))(前)	和	文	人, 生	知覚資源は社会の複雑な組織化に役立てられたという文より, 教育の場での知覚に関する取り組みなどを書く。(500字)
中等教育教員養成(中等教育プログラム(家庭))(前)	和	課	社	住まいの周囲の環境や地域社会との関係を説明し, 自身が特に重要だと考える内容を選びその理由を述べる。(1000字)
中等教育教員養成(中等教育プログラム(家庭))(前)	和	文	人, 生	知覚資源は社会の複雑な組織化に役立てられたという文より, 教育の場での知覚に関する取り組みなどを書く。(500字)
特別支援教育教員養成(特別支援教育初等教育プログラム)(後)	和	課	自己	特別支援教育を担う教師をめざす理由とそのために行ってきたことについて, 自身の考えを述べる。(400字)
特別支援教育教員養成(特別支援教育中等教育プログラム)(後)	和	課	自己	特別支援教育を担う教師をめざす理由とそのために行ってきたことについて, 自身の考えを述べる。(400字)

大学名・学部名 学科(専攻(コース))(日程/方式)	言語	出題形式	分野	出題内容
福岡教育大・教育 初等教育教員養成(小学校教育専攻プログラム)(後)	和	文	人	望ましい議論のあり方を述べた文より、小学校教員になったとき議論を誘導するために必要な力などを書く。(500字)
初等教育教員養成(人文・社会教育プログラム)(後)	和	文	人	ほめることの重要性を述べた文より、「否定すること」の意義や必要性・効果的な否定の仕方を論じる。(800字)
初等教育教員養成(理数教育プログラム)(後)	和	文	人	割り算・昆虫に関する知識を説明する2つの文より、教員になったときの理数系の学習の進め方などを書く。(435字)
中等教育教員養成(中等教育プログラム(数学))(後)	和	文	人	子どもの声を聴くことの重要性を述べた文より、教師としての立ち位置や子どもたちへの声かけなどを書く。(500字)
中等教育教員養成(中等教育プログラム(理科))(後)				
中等教育教員養成(中等教育プログラム(技術))(後)				
佐賀大・教育 学校教育(幼小連携教育)(後)	和	統	教育	15項目の社会情動的スキルと3教科の学力との関係を示す3つの図より、学校教育に生かす方法などを書く。(800字)
学校教育(小中連携教育(初等教育主免))(後)				
学校教育(小中連携教育(中等教育主免))(後)				
大分大・教育 学校教育教員養成(初等中等教育)(後)	和	文	社, 教育	答えのない問題に解答をつくりだす力が必要だという文を要約し、教師として学校でどう実現できるかを書く。(600字)
学校教育教員養成(特別支援教育)(後)	和	文	人	自尊感情が実情と乖離していると主張する文より、自分をわかっていないことで生じる子どもの問題を論じる。(600字)
宮崎大・教育 学校教育(小中一貫教育(小学校主免))(後)	和	文	教育	失敗体験の重要性を述べた文を要約し、失敗を経験することで児童・生徒が身につけられる力などを書く。(1200字)
琉球大・教育 学校教育教員養成・小学校教育(学校教育)(前)	和	文	教育	教育の定義や学校の必要性を論じた文より、学校に行かないという選択に伴うリスクについて考えなどを書く。(1600字)
学校教育教員養成・中学校教育(教科教育(社会科教育))(前)	和	文	文, 社	今後の日本社会と移民問題を述べた記事より、移民に長くいてもらうための日本社会のあり方などを論じる。(1800字)
学校教育教員養成・中学校教育(教科教育(生活科学教育))(前)	和	課	社	環境共生住宅とは何か説明し、その実現に向けて今の自分が実践できることについて述べる。(800字)